

調査計画

1 調査の名称（☐特定一般統計調査 ☒その他の一般統計調査）

人々のつながりに関する基礎調査

2 調査の目的

我が国における孤独・孤立の実態を把握し、各府省における関連行政諸施策の基礎資料を得ることを目的とする。

3 調査対象の範囲

(1) 地域的範囲（☒全国 ☐その他）

(2) 属性的範囲（☒個人 ☐世帯 ☐事業所 ☐企業・法人・団体 ☐地方公共団体 ☐その他）
満16歳以上の個人

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

(1) 報告者数

約20,000人（母集団の大きさ：約110,000,000人）

(2) 報告者の選定方法（☐全数 ☒無作為抽出（☐全数階層あり） ☐有意抽出）

住民基本台帳を母集団情報とした無作為抽出（詳細は「別添1」を参照）

5 報告を求める事項

(1) 報告を求める事項

①孤独・孤立に関する事項

ア 外出頻度

イ 外出目的

ウ 行動範囲

エ 社会的交流

オ 社会参加

カ 各種支援の利用状況

キ 他者への手助けの状況

②関連事項

ア コミュニケーションツールの利用状況

イ 不安や悩みの相談相手の有無

ウ 心身の健康状態

エ コロナ禍におけるコミュニケーションの変化

オ コロナ禍における生活の変化

③属性事項

ア 年齢

イ 性別

ウ 配偶者の有無

エ 同居人の有無

オ 同居人の数

カ 収入を得ている同居人の数

キ 教育状態

ク 就業状態

ケ 居住形態

コ 世帯の年間収入

〔集計しない項目の有無〕 無■ 有□

(2) 基準となる期日又は期間

毎年12月1日現在。ただし、世帯の年間収入に関する事項については前年の1年間（1～12月）

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査系統：内閣官房（孤独・孤立対策担当室）→ 民間事業者 → 報告者

(2) 調査方法：■郵送調査 ■オンライン調査（□政府統計共同利用システム ■独自のシステム
□電子メール） □調査員調査 □その他（ ）

〔調査方法の概要〕

- ・内閣官房（孤独・孤立対策担当室）から調査事務を受託した民間事業者が、統計的な手法で抽出した報告者あてに調査票及びWEB回答用のログイン情報を郵送する。
- ・調査票等を受け取った報告者は、①調査票に回答を記入の上、郵送（料金受取人払）により回答する方法、または②調査実施者が設置したWEB回答用のWEBサイトにアクセスし、WEBフォームに回答する方法のいずれかを選択し、期限までに民間事業者あてに回答する。
- ・民間事業者は、回答の取集に併せて督促を行う。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

□1回限り □毎月 □四半期 ■1年 □2年 □3年 □4年 □5年 □不定期
□その他（ ）

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

毎年11月下旬～翌年1月下旬

8 集計事項

- 1 孤独感に関する集計
 - 2 孤立（社会的交流）に関する集計
 - 3 孤立（社会参加）に関する集計
 - 4 孤立（各種支援）に関する集計
- （「集計事項一覧」については、「別添2」を参照）

9 調査結果の公表の方法及び期日

- (1) 公表・非公表の別（☒全部公表 ☐一部非公表 ☐全部非公表
- (2) 公表の方法（☒e-stat ☐インターネット（e-stat以外） ☐印刷物 ☐閲覧）
- (3) 公表の期日
- 調査実施年の翌年4月末までに公表する。

10 使用する統計基準等

- ☐使用する→☐日本標準産業分類 ☐日本標準職業分類 ☐その他（ ）
- ☒使用しない

本調査は満16歳以上の個人を対象とした人々のつながりに関する調査であり、その内容から、統計基準を用いる余地がないことから使用しない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

関係書類名	保存期間	保存責任者
記入済み調査票	1年	内閣官房孤独・孤立対策担当室長
調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	内閣官房孤独・孤立対策担当室長
調査対象者名簿	1年	内閣官房孤独・孤立対策担当室長

人々のつながりに関する基礎調査 標本設計の概要

1 母集団の設定

この調査は満16歳以上の個人を対象としているが、この調査の標本設計に必要な都道府県別の16歳以上の人口に関する既存のデータが存在しないため、便宜上、最も近似する15歳以上の人口データ（総務省「人口推計」（第3表 都道府県，年齢（3区分），男女別人口—総人口（2019年10月1日現在））を母集団とした。

2 報告者数の算出

日本全体の縮図となるよう各都道府県の母集団の大きさを考慮した上で、全国を17の地域¹に区分し、各地域区分における人口比率を算出した。

うち、最も小さい人口比率となる「北海道地域」において、信頼度95%（信頼度係数1.96）で標準誤差率5.0%の精度を確保できるよう、以下の公式により、必要な標本の大きさ（385人）を算出した。

※標本の大きさの公式

$$\text{標本の大きさ} = \frac{\text{母集団の大きさ}}{\frac{\left(\frac{\pm \text{標本誤差}}{\text{信頼度係数}} \right)^2 + (\text{母集団の大きさ} - 1)}{\text{予想母比率} \times (100 - \text{予想母比率})}} + 1$$

※予想母比率は50%としている。



「北海道地域」を基準に各地域の15歳以上の人口比率に応じた比例配分により、各地域区分における必要標本数及び回収率²を設定し、最終的な報告者数（約20000人）を算出した。なお、報告者数の詳細は下表のとおりである。

¹「北海道」、「東北」などの一般的な地域区分に加え、大都市における孤独・孤立の実態把握に資するため、「埼玉」、「千葉」、「東東京」、「西東京」、「神奈川」、「愛知」、「大阪」、「兵庫」についてそれぞれひとつの地域区分とし、合計で17区分とした。

²平成30年12月13日付け統計委員会担当室の「調査票の回収率・有効回答率の状況について」の4スライド目を参考にした結果、調査票を郵送で配布し、回収を郵送とオンラインで実施している2つの調査の回収率は41.4%及び41.8%といずれも40%台前半であったことを踏まえ、目標回収率を45～50%にしている。今回の調査は12月から翌年1月まで実施し、4月までには結果を公表するという過密スケジュールの中で督促期間にも限界があることも考慮した。

※上記資料のURL：https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/singi/toukei/gyomu/kaigi/02shingi05_02000267.html

【報告者数 一覧表】

	地域区分	15歳以上人口 (千人)	人口比率	必要標本数 (人)	回収率	調査対象数 (人) ※
1	北海道	4685	4.2%	385	50%	800
2	東北	7698	6.9%	633	50%	1300
3	北関東	5930	5.3%	487	50%	1000
4	埼玉	6469	5.8%	532	45%	1200
5	千葉	5520	5.0%	454	45%	1100
6	東東京	6184	5.6%	508	45%	1200
7	西東京	6184	5.6%	508	45%	1200
8	神奈川	8100	7.3%	666	45%	1500
9	北陸・甲信越	7077	6.4%	582	50%	1200
10	中部（愛知除く）	6499	5.9%	534	50%	1100
11	愛知	6561	5.9%	539	45%	1200
12	近畿（大阪・兵庫除く）	5494	5.0%	451	45%	1100
13	大阪	7767	7.0%	638	45%	1500
14	兵庫	4793	4.3%	394	45%	900
15	中国・四国	9666	8.7%	794	50%	1600
16	九州北部	6295	5.7%	517	50%	1100
17	九州南部・沖縄	6039	5.4%	496	50%	1000
合 計		110960	100%	9118	47%	<u>20000</u>

※調査対象数は端数処理として、十の位を切り上げている。

人々のつながりに関する基礎調査
集計事項一覧

第 1 編 孤独感に関する集計

第 1－1 表：性別，年齢階級ⁱ，UCLA尺度の回答状況別孤独感（直接質問）の頻度ⁱⁱ

第 1－2 表：性別，年齢階級別孤独感の頻度

第 1－3 表：性別，年齢階級，配偶者の有無別孤独感の頻度

第 1－4 表：性別，年齢階級，同居人の有無，同居人の種類別孤独感の頻度

第 1－5 表：性別，年齢階級，同居人の数別孤独感の頻度

第 1－6 表：性別，年齢階級，最終学歴（又は在学中の学校）別孤独感の頻度

第 1－7 表：性別，年齢階級，現在の仕事別孤独感の頻度

第 1－8 表：性別，年齢階級，居住形態別孤独感の頻度

第 1－9 表：性別，年齢階級，世帯年収，収入のある同居人の数別孤独感の頻度

第 1－10 表：性別，年齢階級，コミュニケーションツールの利用状況別孤独感の頻度

第 1－11 表：性別，年齢階級，外出頻度，外出目的別孤独感の頻度

第 1－12 表：性別，年齢階級，外出頻度，行動範囲別孤独感の頻度

第 1－13 表：性別，年齢階級，コミュニケーション手段，頻度別孤独感の頻度

第 1－14 表：性別，年齢階級，社会参加の状況別孤独感の頻度

第 1－15 表：性別，年齢階級，困りごとに対する支援の有無，支援者の属性，支援内容，受けていない場合の理由別孤独感の頻度

第 1－16 表：性別，年齢階級，不安や悩みの相談相手の有無、相手の種類，不安や悩みを相談する際の感情別孤独感の頻度

第 1－17 表：性別，年齢階級，他者への手助け状況別孤独感の頻度

第 1－18 表：性別，年齢階級，孤独感の継続期間別孤独感の頻度

第 1－19 表：性別，年齢階級，これまでに経験したライフイベント別孤独感の頻度

第 1－20 表：性別，年齢階級，心身の健康状態別孤独感の頻度

第 1－21 表：性別，年齢階級，社会や他人とのかかわり方の満足度別孤独感の頻度

第 1－22表：性別，年齢階級，新型コロナウイルス感染拡大による人とのコミュニケーションの変化の状況別孤独感の頻度

第 1－23表：性別，年齢階級，新型コロナウイルス感染拡大による生活の変化の状況別孤独感の頻度

第 2 編 孤立（社会的交流）に関する集計

第 2－1 表：性別，年齢階級，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－2 表：性別，年齢階級，配偶者の有無，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－3 表：性別，年齢階級，同居人の有無，同居人の種類，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－4 表：性別，年齢階級，同居人の数，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－5 表：性別，年齢階級，最終学歴（又は在学中の学校），家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－6 表：性別，年齢階級，現在の仕事，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－7 表：性別，年齢階級，居住形態，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－8 表：性別，年齢階級，世帯年収，収入のある同居人の有無，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－9 表：性別，年齢階級，コミュニケーションツールの利用状況，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－10表：性別，年齢階級，外出頻度，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－11表：性別，年齢階級，外出目的，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－12表：性別，年齢階級，行動範囲，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－13表：性別，年齢階級，社会参加の状況，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－14表：性別，年齢階級，困りごとに対する支援の有無，支援者の属性，支援内容，受けていない場合の理由，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－15表：性別，年齢階級，不安や悩みの相談相手の有無，相手の種類，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－16表：性別，年齢階級，不安や悩みを相談する際の感情，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－17表：性別，年齢階級，他者への手助け状況，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－18表：性別，年齢階級，これまでに経験したライフイベント，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－19表：性別，年齢階級，心身の健康状態，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－20表：性別，年齢階級，社会や他人とのかかわり方の満足度，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－21表：性別，年齢階級，新型コロナウイルス感染拡大による人とのコミュニケーションの変化の状況，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 2－22表：性別，年齢階級，新型コロナウイルス感染拡大による生活の変化の状況，家族・友人等とのコミュニケーション手段別コミュニケーション頻度

第 3 編 孤立（社会参加）に関する集計

第 3－1 表：性別，年齢階級別社会参加の状況

第 3－2 表：性別，年齢階級，配偶者の有無別社会参加の状況

第 3－3 表：性別，年齢階級，同居人の有無，同居人の種類別社会参加の状況

第 3－4 表：性別，年齢階級，同居人の数別社会参加の状況

第 3－5 表：性別，年齢階級，最終学歴（又は在学中の学校）別社会参加の状況

第 3－6 表：性別，年齢階級，現在の仕事別社会参加の状況

第 3－7 表：性別，年齢階級，居住形態別社会参加の状況

第 3－8 表：性別，年齢階級，世帯年収，収入のある同居人の数別社会参加の状況

第 3－9 表：性別，年齢階級，コミュニケーションツールの利用状況別社会参加の状況

第 3－10表：性別，年齢階級，外出頻度，外出目的別社会参加の状況

第 3－11表：性別，年齢階級，外出頻度，行動範囲別社会参加の状況

第 3－12表：性別，年齢階級，家族・友人等とのコミュニケーション手段，頻度別社会参加の状況

第 3－13表：性別，年齢階級，困りごとに対する支援の有無，支援者の属性，支援内容，受けていない場合の理由別社会参加の状況

第 3－14表：性別，年齢階級，不安や悩みの相談相手の有無、相手の種類，不安や悩みを相談する際の感情別社会参加の状況

第 3－15表：性別，年齢階級，他者への手助け状況別社会参加の状況

第 3－16表：性別，年齢階級，これまでに経験したライフイベント別社会参加の状況

第 3－17表：性別，年齢階級，心身の健康状態別社会参加の状況

第 3－18表：性別，年齢階級，社会や他人とのかかわり方の満足度別社会参加の状況

第 3－19表：性別，年齢階級，新型コロナウイルス感染拡大による人とのコミュニケーションの変化の状況別社会参加の状況

第 3－20表：性別，年齢階級，新型コロナウイルス感染拡大による生活の変化の状況別社会参加の状況

第 4 編 孤立（各種支援）に関する集計表

第 4－1 表：性別，年齢階級，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－2 表：性別，年齢階級，配偶者の有無，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－3 表：性別，年齢階級，同居人の有無，同居人の種類，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－4 表：性別，年齢階級，同居人の数，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－5 表：性別，年齢階級，最終学歴（又は在学中の学校），支援者の属性別各種支援の状況

第 4－6 表：性別，年齢階級，現在の仕事，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－7 表：性別，年齢階級，居住形態，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－8 表：性別，年齢階級，世帯年収，収入のある同居人の有無，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－9 表：性別，年齢階級，コミュニケーションツールの利用状況，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－10表：性別，年齢階級，外出頻度，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－11表：性別，年齢階級，外出目的，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－12表：性別，年齢階級，行動範囲，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－13表：性別，年齢階級，家族・友人等とのコミュニケーション手段，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－14表：性別，年齢階級，社会参加の状況，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－15表：性別，年齢階級，不安や悩みの相談相手の有無，相手の種類，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－16表：性別，年齢階級，不安や悩みを相談する際の感情，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－17表：性別，年齢階級，他者への手助け状況，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－18表：性別，年齢階級，これまでに経験したライフイベント，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－19表：性別，年齢階級，心身の健康状態，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－20表：性別，年齢階級，社会や他人とのかかわり方の満足度，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－21 表：性別，年齢階級，新型コロナウイルス感染拡大による人とのコミュニケーションの変化の状況，支援者の属性別各種支援の状況

第 4－21 表：性別，年齢階級，新型コロナウイルス感染拡大による生活の変化の状況，支援者の属性別各種支援の状況

ⁱ 年齢階級は以下の 6 区分とする

①16～24 歳、②25～34 歳、③35～49 歳、④50～64 歳、⑤65～74 歳、⑥75 歳以上

ⁱⁱ UCLA 孤独感尺度の 3 つの間接質問の回答について、それぞれ「決してない」を「1 点」、「ほとんどない」を「2 点」、「時々ある」を「3 点」、「常にある」を「4 点」に点数化し、これを合計したスコアを得た上で、次の 4 区分（①スコア 3～4、②スコア 5～7、③スコア 8～9、④スコア 10～12）で集計予定